



教育センター・育成センター所報

2007年6月号

トキワイカリソウ



**GALILEI**

新しい教育 柏崎からの発信

インターネット版は  
柏崎市教育情報支援シス  
テムを検索し、トップ画面の  
右上「GALILEI」をクリック  
してください。

柏崎市立教育センター  
柏崎市青少年育成センター

# 6月号 CONTENTS



今月の巻頭言 「子どもからの SOS サインに！」	
柏崎市教育委員会学校教育課長 涌井 昭夫 .....	1
子どもたちからのメッセージ(教育相談班の活動)	2
いじめから子どもの心と命を守ろう .....	6
教育センターたより	
アクセス(教育研究班・情報教育) .....	8
液晶プロジェクタ・算数数学教科書図版集・今年の総合学習は・情報関連研修講座案内ほか	
プロジェクト K(科学技術教育班) .....	12
事業報告(5月の観察会, 研修会)・6月の活動予定・水星金星土星が並ぶ!	
心の窓(教育相談班) .....	15
我が校の教育相談(新道小)・SST とは・ワンポイント講座・あきらめないこと・6月の予定	
青少年育成センター通信 .....	18
6月の予定・5月の早朝育成・高校の下校育成・育成委員 67 人に辞令交付	
センター点描 .....	22
所員随想つれづれ .....	23
「人生を極める」教育相談班カウンセラー助手 本間 良子	
「PC 一人一台環境はどうなる？」教育研究班情報教育主事 田村 実	
教育センター 6月の予定 .....	25
お知らせ(科学の祭典・教科書展示会) .....	27
6月の夢の森公園を彩る植物 .....	28
5月の教育センター利用状況	



山田洋次監督の映画「男はつらいよ」はいつみても心むく映画です。寅さんが久しぶりに柴又の実家に帰ると、必ず家族や近所の人とトラブルを起こし、お前なんかこの家にいないから出でいけと怒鳴られます。このとき、寅さんが決まって言うせりふが「それを言っちゃあ、おしまいよ」です。

私たちは人間としての生活をする上で、絶対にやってはならないことがいくつかあります。人を殺すこと、人を差別すること、人をいじめることです。これらをなぜしてはいけないのか理由を説明するとなると、大変難しくなります。一言でいえば、「それを言っちゃあ、おしまいよ」なのです。

もっともらしい理屈で説明するより、してはいけないことを何回も繰り返して体で覚えさせる必要があります。人を殺したり、



差別したり、いじめたりすることは、人間のすることではないのです。「してはならないことは、いくらしたくても絶対にしてはいけない」「しなければならぬことは、したくなくてもする」ことを、理屈ではなく繰り返して体得させなければなりません。人間らしく生きていくときに絶対的に重要で大切なことは、理屈では説明できるものではありません。それを言っちゃあ、おしまいよなのです。子どものわがままや言い訳には大人の毅然とした態度が必要ですね。

教育再生会議で道徳の教科化が論議されています。道徳は徳目の押し付けになってはなりませんし評価は困難ですが、生き方の根本だけはしっかりと身につけさせる必要があります。(種)

## 子どもからのSOSサインに！



柏崎市教育委員会  
学校教育課長 涌井 昭夫

子どもたちの自殺を防ぐために、文部科学省の検討会が教師向けの指針をまとめました。教師向けということになっていますが、もちろん親向け、周囲の大人向けでもあります。指針としてまとめたものの中に、子どもたちが発信しているSOSサイン例が5段階に渡って含まれています。主だった内容は次のようなことです。

《段階1：突然の態度の変化》

- ・関心のあった事柄に興味を失ったり、投げやりな態度が目立ったりする
- ・身だしなみを気にしなくなる
- ・学習の成績が急に落ちる
- ・自分より幼い者や弱い者、生き物、ペットなどを虐待する
- ・友人との交流をやめて、一人になりがちになる

《段階2：自殺をほのめかす》

- ・「自分のことを知っている人がいない所へ行きたい」「遠くへ行きたい」「夜眠ったら、二度と目が覚めなければいい」といったことを話す
- ・「疲れた」を頻繁につぶやく

《段階3：別れの用意をする》

- ・大切にしていた物を友人にあげたり、長く借りていたものを返したりする
- ・しばらく連絡が途絶えていたり、つき合いが希薄になっていたりしていた友人に、会いに行ったり電話したり、メールを送ったりする
- ・日記や手紙、持ち物を焼いたり、処分したりする

《段階4・5：省略》

当然のことですが「体重の急変」「顔色」「目の輝き」「チック症状」など、他の様相としてサインが現れることも少なくありません。また、必ずしも第一段階から発信するとは限らないと思います。

これらの情報やサインが発信されていても、「一過的な変化」と受け止めてしまう場合が少なくないことも危惧されます。背景として「うちの子に限って」「まさかあの子に限って」という家族や教職員の思いこみがあります。加えて、「どの程度の変化をもってSOSサインとするか」という判断基準が不明確なこともあります。事態発生後の「今考えると、あの時もっと・・・」というコメントもよく耳にします。

サインの発信と同時に、自分から友だちや家族、教職員に自分の思いを訴えることができる子どもたちは、最悪の事態に至らない場合が多いと思います。しかし、友だちや家族、教職員の何気ない応答や態度によって、心情が急変する場合が少なくないようです。周囲にとって「この程度のことで・・・」と受け止められることでも、当事者本人にとっては「何事にも耐え難いショック」である場合には、最悪の事態に突き進んでいくことになるのではないかと思います。

「子ども一人一人の気持ちに寄り添って」ということは、総論として誰しものが否定しません。けれども各論となると難しいものです。要は、日常生活の中で、子どもと親や家族、子どもと教職員等が、お互いに信頼し合える人間関係づくりに努めることしか手だてや解決策はないと思いますし、それが今大人に求められていることでもあります。



平成 19 年度版

# 子どもたちからのメッセージ

教育相談班の活動から

(以下の数字は 18 年度の実績)

柏崎市立教育センター

## 1 ふれあいルーム(適応指導教室) 指導員 3 人

開設の概要

年間開設日数	192日		
通級人数	各月12~24人	延人数	211人
受入人数	小学生1人	中学生25人	計26人
学校復帰数	小学生1人	中学生13人	計14人

毎日の活動

9:30	朝の会
9:45	個人の活動(教科学習 読書, 製作等)
10:45	相互の交流活動(スポ ーツ, ゲーム, 共同作 業等)
11:45	帰りの会

体験活動

サイクリング, 徒歩遠足  
バス旅行, 音楽教室, 水泳教室,  
八石山登山, 陶芸教室, スキー教室,  
スケート教室, 栽培活動,  
保護者会など



運営上の課題と対応

軽度発達障がいをもつ子ども, 家庭にネグレクト等の問題をかかえる子ども, 情緒・精神の失調があって通院している子ども, 学級不適應の子どもなど通級生一人一人の状況が多様で異なっており, 個に応じた指導や教室運営に一層配慮が必要である。

ふれあいルームが学校よりも楽しくかつ楽な場所という誤った認識をもち, 再登校への障害になるケースが見られる。学校復帰を最終の目標として, 「自分なりの目標を持ち頑張るところ」という意識をもたせる。

体験活動は集団への適応力や生きる力を養うことにつながる。スタッフが用意したことに受身的に参加するのではなく, 準備までの大変さも経験させて社会生活の仕組みを理解させる。また, 笹団子づくりや陶芸教室など指導してくださる外部の人とも接することができるようにする。

子どもを取り巻く関係者(児童相談所, 元気館, 学校関係者, 教育センターカウンセラー等)が一堂に会して, 不登校や軽度発達障がいの子どもへの対応等を検討することは大変有効なことである。

「心を開き, 信頼を深め, 友情を育む」教室を目指して

生活習慣・生活リズムの確立, 学習への意欲付け, 集団生活への適應を目指して, 「自立」と「自己決定」を促しつつ学校復帰への援助を行う。

挨拶の励行, 自己表現と会話の成立, 作文の活用などの指導を通して, 対人スキルの向上を図る。

## ふれあいルームの子どもたち



朝の会で今日の  
計画を発表



自分の計画で熱心に学習



← 焼いもパーティ



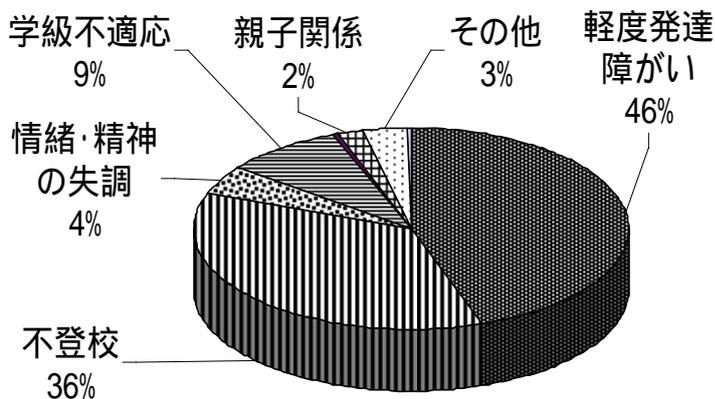
個別学習室も完備

保育園でもちつき



## 2 カウンセリングルーム(面接相談) カウンセラー 3人

### 内容別相談回数



相談合計件数645回(209人)

年代別相談回数  
小学生 342回(102人)  
中学生 265回(74人)  
その他 38回(33人)

軽度発達障がい児  
に対するSSTの回数  
(いろいろ体験グループ)

小学生 18回・111人  
中学生 9回・75人  
合計 27回・184人

ピアサポーター養成講座  
第一中学校 27人  
第五中学校 54人

相談件数は昨年比で大きく増加するとともに、本人や保護者が精神疾患を有するケースやネグレクト等虐待を伴うケースなど、医療機関や福祉機関との緊密な連携を要する事例が多くなり、カウンセリングの対応に多くの時間と高度な技術が年々必要になってきている。

相談内容は、ここ数年の傾向と同様に、軽度発達障がいに関する相談が全体の約半数と最も多く、次いで不登校が約1/3でこの2つの内容が大部分を占める。そのほかに、学級不適応、情緒・精神の失調などで、いじめの相談件数は2件である。

相談内容に関して、「保護者と学校との関係のこじれ」によって事態が更に悪化しているケースが多くなっている。障がいの認識や特別支援の方法、あるいは不登校の子どもに対する再登校の働きかけを巡って、保護者と学校教師が対立して事態がこじれた末にカウンセリングルームを紹介されて来談するという例も珍しくない。

子どもの教育には熱心であるが子どものしつけや精神的自立・社会的発達に関しては無関心という親が増えているようである。親の自己都合でTVゲームに子守をさせたり親の世間体や他者不信で子育てをしたりした結果、子どもに自律性、社会性、忍耐力などが育たないまま、集団への適応に困窮している事例が多い。

軽度発達障がい(LD, ADHD, アスペルガー障がい)の問題行動に対して、教職員や保護者の理解が年々進んできているが、個別の事例の対応になると対応困難を生じるケースが多く、早期発見・対応の必要性を感じる。

カウンセリングの希望数や内容に対してカウンセラーの人数が不足しており、過重負担を強いられている。多くの相談事例に即時的確に対応し、カウンセリングルームへの多様なニーズに応えるためには、専門的な資格をもった正規職員の複数配置がぜひとも必要である。



カウンセリングルームでの面接相談



第五中学校ピアサポーター養成講座



いろいろ体験グループの活動



### 3 学校訪問相談 相談員 2 人

主な相談内容  
不登校・情緒不安定・軽度発達障がい  
授業不成立・新採用指導など

訪問回数	小学校	82 回
	中学校	59 回
	合計	141 回

#### 運営上の課題と対応

相談内容は年々複雑・多様化してきている。また、学校だけでは対応できず福祉機関などの関係機関との連携による解決が不可欠となる事例が多いが、全校体制で問題解決に取り組む学校は解決が早い。  
学級経営や授業不成立の問題、新採用及び若手教員の指導上の悩みなどがあり、これらの問題に対しても指導・援助の方策を検討していく。  
定期訪問の計画によって訪問を行っているが、問題の軽重により訪問を弾力的に考えているので、その旨連絡いただきたい。

### 4 家庭訪問相談 相談員 1 人

相談	小学生	1 人	
回数	中学生	3 人	計 4 人
人数	訪問延回数		118 回



#### 運営上の課題と対応

対象の子どもがどうしても引きこもりがちになるので、創作活動や室内外でのゲームや遊びを通して、外の世界に興味関心をもつよう支援している。  
家族内の不和が本人の不登校に影響を与えているケースが目立つので、家族への支援もますます重要になってきている。  
中学校卒業後の進路に対する意識を高めるため、学校や支援機関の見学を積極的に行った。その結果、ふれあいルームの通級につながった例がある。

### 5 電話相談 相談員 1 人(兼務)

相談件数	小学生	18 件
	中学生	4 件
	高校・一般	18 件
	合計	40 件

#### 運営上の課題と対応

相談内容は、部活動における処遇やいじめ問題の対応などに対する不満が多く、学校や教師への不満を相談員にぶつけてきているように感じる。これらに対して中立的な立場から共感的に受け止め、相談者に聞いてもらってよかったと思われるように対応している。

# いじめから子どもの心と命を守ろう！

## いじめとは・・・

「自分より弱いものに対して一方的に、身体的・心理的な攻撃を継続的に加え、相手が深刻な苦痛を感じているものとする。」(文部省 1994 年)と、定義されていましたが、2007 年 1 月に、「子どもが一定の人間関係のある者から、心理的・物理的攻撃を受けたことにより、精神的な苦痛を感じているものとする」と改められました。また、「いじめか否かの判断は、いじめられた子どもの立場に立って行う」と、されています。

## いじめの傾向

- \* クラス全体の深刻な状況...かつての「いじめる側」「いじめられる側」「傍観者」という三者から「ひとり」対「クラス全員」というような構図となり、ひとたび、いじめが起こると、多くの子どもたちが心に深刻な影響を負う状況があります。
- \* 見えにくい実態...「仲間」として行動を共にしたり、発覚しない小さな暴力を繰り返すなど、巧妙な手口と被害者が常に脅かされ助けを求められない状況により、長期化しやすく実情が極めて見えにくく、発見しにくい状況があります。
- \* 陰湿な攻撃...存在そのものを無視した振る舞いや徹底的に恥をかかせる行動、メールを使って誹謗中傷するなど、加害者を特定しにくい陰湿で継続的な攻撃により、被害者の身体的・精神的ダメージがとても大きい状況があります。
- \* 将来に及ぶ心的影響...深刻ないじめの被害体験が、自己肯定感の低下、対人関係不安などの影響を与え、大人になってからもいじめられたときの感情が突如激しく戻ってくるなど心的外傷が深く残る状況があります。

## いじめの早期発見チェックポイント...親から見た変化

- \* 身体：原因不明の腹痛や頭痛などの体調不良・倦怠感・傷やあざ・身体を見せたがらないなど
- \* 態度：沈んだ表情・口を利かない・イライラ・投げやり・視線を合わせない・明るく振舞うなど
- \* 服装：衣服、制服、靴などの破けや、ひどい汚れ・親の知らないところで自分で洗う行為など
- \* 持ち物：最近、ものをよくなくす・持ち物を隠される、落書きされる・金遣いが荒くなるなど
- \* 行動・生活面：学校の話をしない、連絡物を出さない・部屋へこもる・急な成績低下・不自然な友人関係など

## いじめへの対応

- \* 早期発見・早期対応...被害者本人からは、いじめの事実を訴えられない状況です。子どもの様子が気になる、いじめかもしれないと感じたら、学校や相談機関へご相談ください。(本人へ、いじめの状況について無理に問い詰めないようにしましょう。)
- \* 子どもの心身の安全を守る。...子どもの状態によっては、医療機関の受診や学校を一時、休ませるなど安心と安全の場を確保しましょう。
- \* 共に支える。...いじめられている状況は親にとっても大変つらく苦しいものです。学校や専門機関と連携をとり、お子さんを共に守り支えましょう。

たった一人のあなた。たった一つの命。 - いじめを受けている子どもたちへ -

がんばらなくて、いいよ。 がまんしなくて、いいよ。

つらかったね。 苦しかったね。

さあ、ひとりで悩まないで、だれかに、話してください。

必ず、あなたの味方はいます。

必ず、あなたを守ります。

あなたの声を待っています。

いじめ相談窓口...秘密は堅く守られます。ご一緒に問題解決を図りましょう。

柏崎市教育センター (平日8:30~17:00) 相談電話 0257-22-4115 カウンセリングルーム 0257-32-3397	24時間いじめ相談ダイヤル(全国统一) 0570-078310 <small>なやみ言おう</small> (PHS, IP電話からはつながりません)
柏崎市元気館子ども課 (平日8:30~17:00) 相談電話 0257-20-4215	中越いじめ相談電話 0258-35-3930 (毎日24時間)
法務局 柏崎支局 (平日8:30~17:00) 相談電話 0257-23-5226	県立教育センターいじめ相談 025-263-4737 (平日9:00~16:00) 子ども・女性電話相談 025-382-4152 (毎日9:00~16:00)
警察の相談電話 柏崎警察署 (平日9:00~17:45) 相談電話 0257-21-0110	子どもの人権110番 0120-007-110 (平日8:30~17:15)
長岡少年サポートセンター (平日8:30~7:15) 相談電話 0258-36-4970	新潟いのちの電話 025-288-4343 (毎日24時間) チャイルドラインにいがた (水曜日15:00~21:00) 相談電話 025-224-5555
長岡児童相談所 (毎日8:30~17:15) 相談電話 0258-35-8500	子育て電話相談「すこやかコール」 (平日13:00~21:00) 相談電話 025-283-1150

# アクセス

No.71	平成 19 年 6 月 5 日発行	柏崎市立教育センター	945-0833 新潟県柏崎市若葉町 2-31 TEL:0257-23-4591 FAX:0257-23-4610
-------	-------------------	------------	--

## 液晶プロジェクタが足りませ〜ん！？

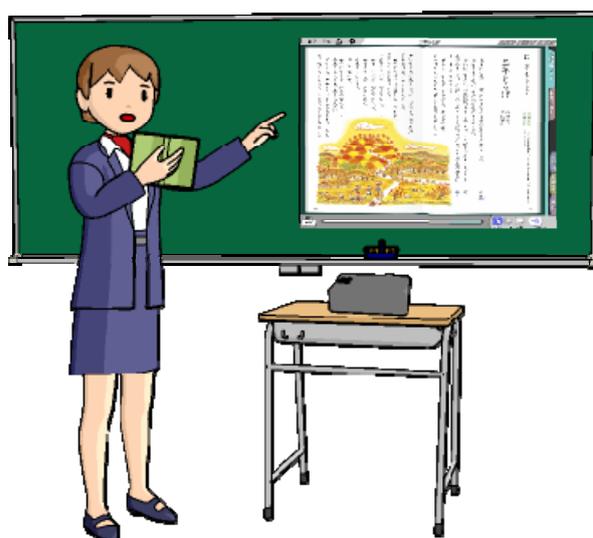
各学校には液晶プロジェクタを数台整備していますが、台数は足りていますか？

平成 17 年度に市内の全小学校 1・2 年生に整備した国語デジタル教科書ですが、今年度、小学校 3 年生分を追加整備することになりました。5 月下旬より順次学校にお届けしています。ご活用ください。

また、小学校算数、中学校数学の教科書で使われている表の枠やグラフ用の方眼を画像データとして教育用コンテンツサーバーに登録しました。

こちらにも積極的な活用をお願いします。

ぜひ、「液晶プロジェクタを使いたいけれど数が足りませ〜ん！」という声を教育センターまで届けてください。



### ■算数・数学 教科書図版集

<http://172.17.106.10/>

教科書に載っている表の枠やグラフの方眼がページ毎に登録されていますので、誰でも簡単に利用することができます。

# 柏崎市の教育の情報化推進プラン作成会議始まる！

柏崎市では、コンピュータ、液晶プロジェクタ、デジタルカメラ、ネットワーク環境などの整備を行うとともに、セキュリティポリシーを作成し、安全で適正な運用が行えるよう支援を行ってきました。

昨年度で市町村合併後のハードウェアの追加整備も終了しましたが、教育の情報化を今後一層進めるためには数年間を見通した具体的な推進プランの作成が必要となります。

そこで、今年度、次の観点から、教育の情報化を推進するためのプランを作成することになりました。

- ・ 児童生徒の情報活用能力の育成を図る
- ・ 公務の適正な執行と効率化を図る

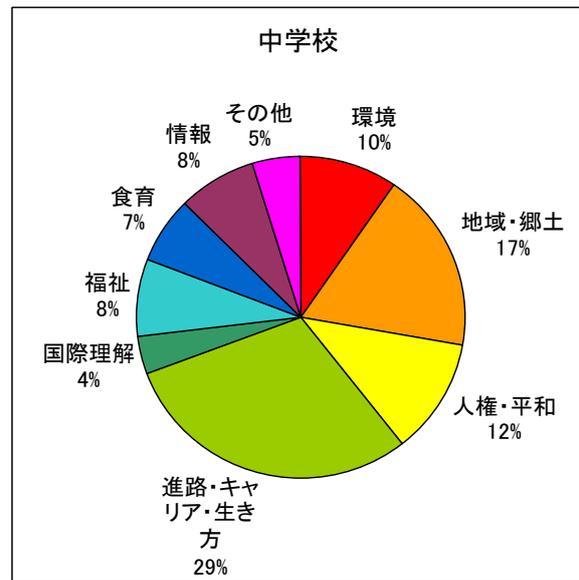
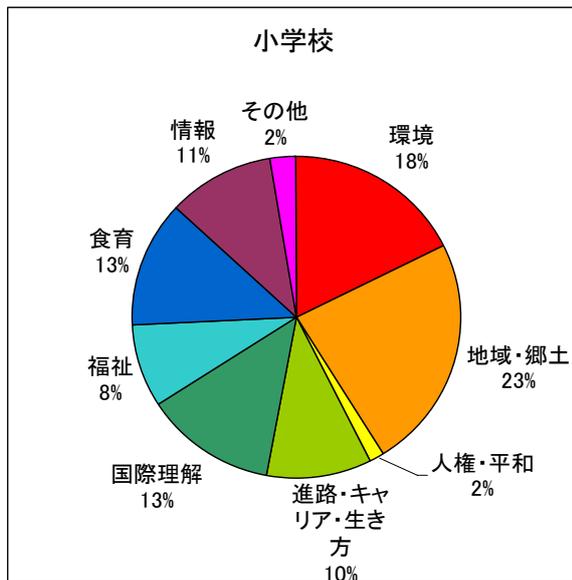
作成委員会は市内小中学校の先生方、学校教育課、教育総務課など13名の委員で構成されています。

先日、その第1回会議が行われ、熱心な議論が交されました。

その会議におきまして、教育の情報化の推進にあたっては、市内小中学校の先生方の意向を十分に踏まえた上で、より活用しやすい整備が必要との考えから、全員の先生方にアンケートの実施を決定しました。

具体的な方法などは後日連絡させていただきますが、ご協力いただけますようお願い申し上げます。

## 平成19年度の「総合的な学習の時間」の傾向は？



昨年度に引き続き、柏崎市刈羽郡学校教育研究会「総合」教育部会や研究主任・各学校総合担当の先生方から協力をいただき、今年度、総合的な学習の時間にどのような内容で学習を進めているかをまとめることができました。お忙しい中、ご協力いただき、感謝申し上げます。

福祉、情報については、小中学校間で大きな違いはありませんが、小学校では中学校に比べ、環境、地域・郷土、国際理解と食育の占める割合が多く、逆に中学校では小学校に比べ、人権・平和、進路・キャリア・生き方の割合が多くなっています。多少の数値の変化はあるもののこの傾向は昨年度と変わっていません。

教育センターでは、このデータをもとに、研修講座の内容や方法をより一層充実させていきたいと考えています。

また、柏崎市教育情報支援システムに各学校の取り組み内容をまとめたもの(エクセルファイル)を入れておきましたので、参考にしてください。

## 教育情報支援システム情報

### 素材データベース新規登録教材

登録日	教材名	説明
H19.5.11	春の植物	教育センター科学技術教育班がH19/4/14に実施した「春の植物観察会」で撮影したものを22点登録しました。

### 教材データベース新規登録教材

登録日	教材名	説明
H19.5.31	Projector X	液晶プロジェクタを使って、方眼、数直線、時計などの図版を黒板に表示するためのソフトウェア。
H19.5.24	視聴覚教材目録	平成18年度までの視聴覚ライブラリー教材目録。今回のデータは漏れ、誤り、重複などを訂正した新版ですので、前回提供したファイルをパソコン等に保存されている方は、差し替えをお願いします。また、同じデータをコンテンツサーバーでも提供していますし、本システムの視聴覚教材DBの情報も更新してあります。
H19.5.12	米山ものしりクイズ	米山登山の事前学習用に作成したものです。

### 講習会のテキスト・資料を登録しました

実施日	講座名	教材名(リンク)	サムネイル/備考
H19.5.10	USBメモリ型暗号化キーの使い方入門	Hardlockeyの利用手順.pdf	テキスト第2版(H19.05.02)
		Hardlockeyの利用手順_簡易版.pdf	通常利用部分のみの抜粋(A3両面印刷2つ折用)
H19.5.11	デジタル教科書	デジタル教科書プレゼン資料.pdf	プレゼン配布資料
		デジタル教科書を活用した国語科授業.pdf	学年・領域別の活用場面、使用方法の例
		H17デジタル教科書活用レポート全体.pdf	平成17年度3～6年生用を追加整備した学校からの活用レポート
H19.5.16	個人PCに必要なセキュリティ対策入門	セキュリティ対策入門.pdf	テキスト第1版(H19.05.16)
		セキュリティ対策入門.ppt	講習会プレゼンデータ
H19.5.23	電子メール入門	電子メール入門.pdf	テキスト第2版(H19.05.23)
H19.5.30	システム管理者のためのセキュリティポリシーと設備管理のポイント	ポリシーと設備管理.pdf	テキスト第3版(H19.05.30)
		IT環境.pdf	小中学校の導入機器の構成図。

## 情報関連研修講座情報

### もうすぐ実施される情報関連講座のご案内

#### ◆H19.06.22(金) 学校ホームページの管理

各校において、それぞれの担当者が作成したページをまとめて、学校全体のホームページに仕上げるためのコツと、サーバーへのアップロードの手順について学習します。学校のホームページの維持管理に時間がかかりすぎると感じている方や、以下のキーワードについて、「説明できない」、「自分ではできない」という方はぜひ受講してください。

よいホームページとは、HTML、アップロードの手順、FTP、アクセスカウンターの付け方、PDFの作成、リンクの設定、適切な画像サイズ、相対パス・絶対パス

◆H19.06.29(金) ICT 活用の指導法 小学校低学年

キッドピクスによるお絵かきなど、小学校低学年の導入期におけるICT活用の指導のポイントを学習します。この研修講座は「柏崎市刈羽郡学校教育研究会 情報教育研究部」との共催で、研修内容については事前に情報教育研究部の先生方と打ち合わせを行った上で決定します。

◆H19.07.05(木) 基礎から学ぶ ICT 活用②(スクーリングその1)

メールによる情報交換や訪問支援を織り交ぜながら、年間を通してパソコンやネットワークの基本的な活用方法について学習するコースの2回目です。年間を通しての研修講座であり、既にスタートしておりますが、これからの参加も受け付けますので、ご希望の方は教育センター情報教育主事 田村までご連絡ください。

◆H19.07.06(金) 保健統計

毎年実施している保健統計処理のために、各校の測定データを入力し、柏崎市教育情報支援システムの指定場所に登録するまでの具体的な手順について学習します。研修当日、データを用意していただければ、その場での登録を行うことができます。

◆H19.07.11(水) 学校ホームページにおける携帯用ページの作成と管理

学校ホームページに携帯電話用のコンテンツを用意する手順と、その管理の方法について学習します。

キャリア、i-mode、EZweb、Yahoo!ケータイ、QRコード、適切な画像サイズ  
作成手順、アップロード手順、更更新手順

◆H19.07.12(火) 疑問やトラブルに答える フリーQ&A 4回目

16:00～18:30 の間、担当が様々な疑問やトラブルの解決などの相談をお受けします。事前に参加の申し込みをする必要はありません。開始時刻から参加できなくても構いません。気軽においで下さい。

■ ■ ■ セキュリティ情報 ■ ■ ■

📄 セキュリティホール情報

マイクロソフトより、5月9日付けで5月の定期更新として、Windowsなどの重要な更新が下記のように公開されました。まだUpdateが済んでいないようでしたら、至急WindowsUpdateなどを実施していただくようお願いします。なお、ご利用の環境によっては以下の更新以外にも、別の更新がリストアップされる場合があります。また、一旦更新プログラムが提供された後で再度問題が見つかり、予告なく新たな更新が提供される場合もありますので、「自動更新機能をONにする」、「定期的に更新をチェックする」などして、随時提供される更新が速やかに適用されるようにしてください。

No.	更新の名称	脆弱性等の情報	対象	更新先	深刻度
1	MS07-023 Excelの重要な更新	Microsoft Excelの脆弱性により、リモートでコードが実行される(934233)	Excel2000,2002(XP),2003,2007,ExcelViewer2003,Office2004 for Mac	Office	緊急
2	MS07-024 Wordの重要な更新	Microsoft Wordの脆弱性により、リモートでコードが実行される(934232)	Word2000,2002(XP),2003,Word Viewer2003,Office2004 for Mac	Office	緊急
3	MS07-025 Officeの重要な更新	Microsoft Officeの脆弱性により、リモートでコードが実行される(934873)	Office2003(SP3),OfficeXP(SP3),Office2003(SP2),Office2007	Office	緊急
4	MS07-027 Internet Explorerの重要な更新	Internet Explorer用の累積的なセキュリティ更新プログラム(931768)	Internet Explorer 5.01, 6, 7	Win	重要

WinはWindowsUpdate, OfficeはOfficeUpdateから更新を実行します。

なお、Officeが2002(XP)以降ならMicrosoftUpdateを利用すると、まとめて実行することができます。

注意 警告 重要 緊急 は右側ほど深刻度が高く、緊急の対応を要します。

# プロジェクト K

(科学技術教育班だより)

## 5月の行事から

### ○ 春の星空観察会

- ◇日 時 5月11日(金)
- ◇会 場 教育センター
- ◇講 師 松村 昌明 様(柏崎天文同好会 会長)
- ◇内 容 春の大曲線, 春の大三角形を中心とした春の星空についての学習。  
また, 金星と土星を中心とした天体望遠鏡観察。



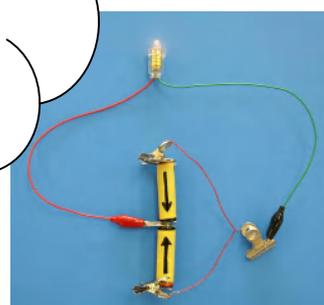
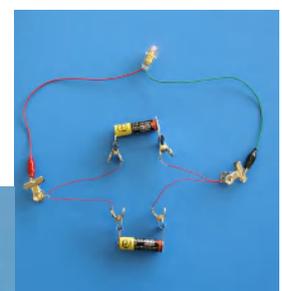
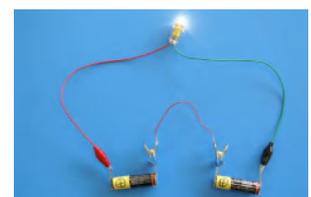
### ○ 磯の生物観察会

- ◇日 時 5月12日(土)
- ◇会 場 鯨波海岸(検潮場付近)
- ◇講 師 小林 進一 様(柏崎貝類同好会 会長)  
馬場 将輔 様(海洋生物環境研究所 総括研究員)
- ◇内 容 貝類と海そう類を中心とした観察, 採集, 標本の作り方講習会。



### ○ 学年別研修会 小学校4年 電気のはたらき

- ◇日 時 5月8日(火)
- ◇会 場 教育センター 科学実習室
- ◇内 容 直列回路・並列回路と, 明るさやモーターの回り方との関係に関連づけてとらえさせるなど, 電気のはたらきについての見方や考え方を養い, 実感を伴った理解を促すための指導法。特に子供の試行活動から, 並列回路に気づかせる工夫や, 教材の準備など。



子どものように、  
なぜ? どうして?  
なるほど! やった!  
と楽しみながら研修  
に参加しました。

V字の導線や矢印  
シールの活用など  
で、指導に悩んで  
いた並列回路の授  
業に取り組んでみ  
たいと思います。

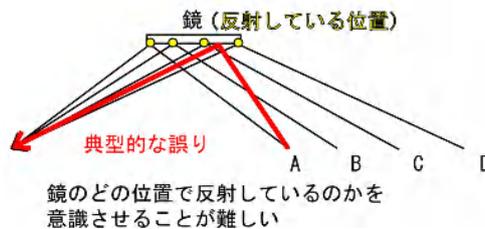
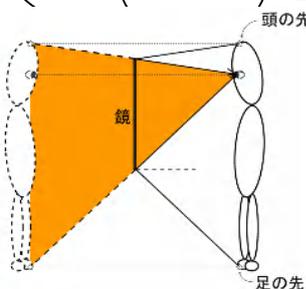
## ○ 分野別研修会 中学校第1分野 身のまわりの現象（光）

- ◇日 時 5月15日（火）
- ◇会 場 教育センター 科学実習室
- ◇内 容 ものが「見える」ということを光の道筋で説明できる子どもを育て、反射の法則につなげるための実験や単元の工夫に関する研修。LEDを使った簡易光源装置の作成も行った。



ものが「見える」という現象を、原理から理解する良い機会となりました。授業に取り入れていきたいと思えます。

実践するのが待ち遠しくなる内容ばかりでした。光源装置も実際に作ることができ、自校でも作る自信ができました。

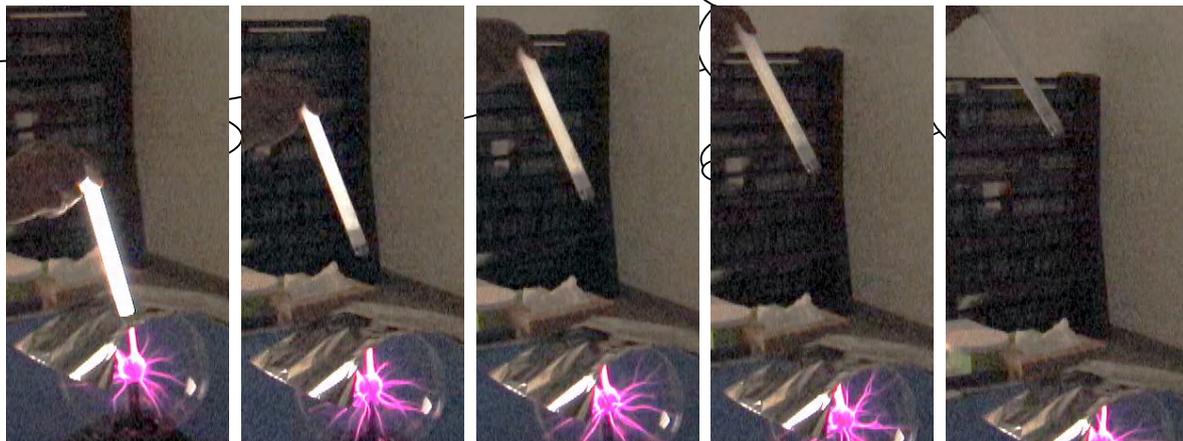


## ○ 分野別研修会 中学校第1分野 電流

- ◇日 時 5月30日（水）
- ◇会 場 教育センター 科学実習室
- ◇内 容 静電気→動電気へスムーズに学習をつなげるための実験や単元構成についての研修を行った。（静電気の＋－判定器の工作や市販品よりもよく回るフランクリンモーターの工作など、持ち帰り教材の製作も含む）

今まで、電気の導入では、思うような結果が得られない実験内容がありましたが、今日の研修で、今まで知らなかったものを習得でき、授業に活用していきたいと思えます。

よく回るフランクリンモーターを、簡単に作成することができ、生徒にも気軽に試させることができそうです。



## 6月の行事予定

### ○青少年のための科学の祭典 2007 柏崎刈羽大会

- ◇日 時 6月9日(土) 10:00～15:30
- ◇会 場 新潟工科大学
- ◇内 容 現象の不思議を体験し、楽しみながら原理に気づかせる実験などを行います。子供たちは原体験があつてはじめて、その仕組みを知りたくなるものです。子どもたちが今後の科学概念を伸ばしていくための原点となるような多くの体験を準備します。全17ブースの実験・体験。

### ○ワンポイント研修会「地層」

- ◇日 時 6月12日(火) 14:00～17:00
- ◇会 場 柏崎西海岸を中心とした市内の各観察ポイント
- ◇内 容 柏崎の地層の成り立ちと、その地点で観察できる見どころを紹介します。  
(聖ヶ鼻～田塚鼻周辺を中心とした複数観察ポイント；水性堆積物(砂岩・泥岩・礫岩)と火山性堆積物(輝石安山岩や軽石凝灰岩など)の違い、微小化石、ノジュール、柱状節理、層内褶曲、ケイ藻化石、角セン石の捕獲巨晶など)

### ○上越地区合同野外研修会

- ◇日 時 6月16日(土)
- ◇会 場 関山方面(妙高市関・燕温泉周辺の露頭)
- ◇講 師 大場 孝信 様(上越教育大学 准教授)
- ◇内 容 妙高火山の溶岩、火砕流堆積物の観察、岩石採取など

### ○ワンポイント研修会「実験の基礎技能」

- ◇日 時 6月20日(水) 15:00～17:00
- ◇会 場 柏崎市立教育センター 科学実習室
- ◇内 容 理科の実験を行う上で必要な基礎的な技能の研修です。薬品調整や薬品管理、ろ過や加熱操作、ほか、実験の基礎をひと通りマスターしましょう。

### ○ワンポイント研修会「科学研究」

- ◇日 時 6月26日(火) 16:00～17:00
- ◇会 場 柏崎市立教育センター 科学実習室
- ◇内 容 優秀な科学研究の分析や、子どもが科学研究に取り組む際の手順についての研修です。

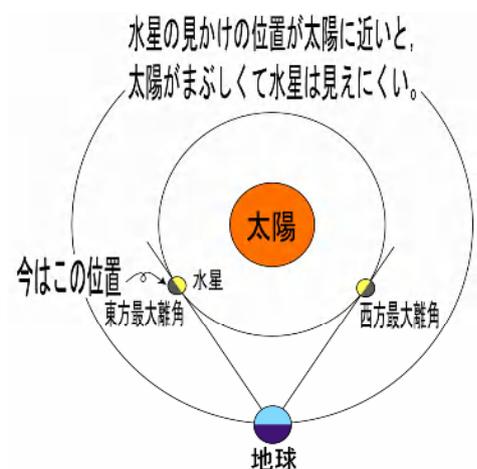
## トピック「夜空を見上げてみませんか」

今まさに、水星、金星、土星が並ぶように観察できる絶好の機会です。夕方の西の空を眺めてみませんか。特に水星と金星が一度にこれほど観察しやすい条件になるのは、5年ぶりとなります。

内惑星と呼ばれる水星や金星は、地球からは日の出直前か、日の入り直後のわずかな時間しか見ることができません。そして、中でも水星は、太陽の一番近くを回る惑星のため、普段はなかなか観察することができません。

ところが今月10日くらいまでは、水星の見かけの位置が太陽と最も離れた位置にあるため、夕方の西の空にとっても観察しやすい状態になります。(6月2日に東方最大離角)

かの有名な地動説を唱えた天文学者のコペルニクスでさえ、生涯見ることができなかったといわれる水星、この機会を逃さずに夕方の西の空を見上げてみてはいかがでしょうか。



平成19年6月7日

# 心の窓 (教育相談班だより)

No. 96

柏崎市立教育センター 〒945-0833 柏崎市若葉町2番31号 TEL (代表) 23-4591  
(Fax) 23-4610



## 我が校の教育相談

柏崎市立新道小学校

新道小学校は柏崎市の南西に位置し、学区は鶴川流域の東西3キロ、南北7キロの16地区を有しています。古くから地域住民の連帯意識が強く、諸活動が継承・発展している経済的・教育的にも安定した農村地域です。米山、黒姫、八石の刈羽三山を一望できる恵まれた自然環境の中、14学級310名の子どもたちが明るく学校生活を送っています。

当校では、新道の柿や鶴川など豊かな自然、歴史を生かした総合的な学習や生活科の学習、人とかかわり合いを深める教育活動、認め合い支え合う人間関係づくりを通して、教育目標の「思いやる子、きたえる子、考える子」の達成を目指しています。また今年度は「明るく、仲良く、元気な新道っ子」をスローガンに掲げて、児童会が主体的に縦割り班活動やあいさつ運動に取り組んでいます。

次に、当校の教育相談体制について紹介します。

### ○ 学校生活アンケートの実施

年3回、学校生活、家庭・地区での生活にかかわるアンケートを実施し、児童一人一人の実態や困っていることを把握するようにしています。また、アンケートをもとに教育相談を行い、より詳しく実態を把握するとともに児童の心のケアをするようにしています。問題点については、全教職員で話し合っって全校児童に指導する内容を確認したり、家庭と密接な連絡を取り合ったりしています。

### ○ 教職員による情報交換

毎週水曜日の職員終会時に子どもを語る会を行っています。今、各学年で一生懸命に取り組んでいることや良い面、気になる児童の様子などの情報交換を行い、全職員での共通理解、共通実践に努めています。特に気になる事例については、その都度生活指導部会を開き、即時対応に努めています。

### ○ 学校訪問相談員との連携

年3回、市教育センターの学校訪問相談員の方との教育相談を行っています。児童の実態からさまざまな助言・ご指導をいただき、その後の対応に生かしています。

学級や学校が、一人一人の子どもにとって居心地の良い場となるように、今後も、さらに望ましい人間関係作りに努めていきたいと思ひます。  
(文責 諏訪部 史枝)

## ～カウンセリングルームから～

### S S T (ソーシャルスキルトレーニング)

S S T (ソーシャルスキルトレーニング) とは、「良好な人間関係をつくり保つための知識と具体的な技術訓練」のことで、生活を円滑に行うためのさまざまなコミュニケーションや、集団での約束ごとに添った動き方を練習するものです。子どものソーシャルスキルの発達は、集団の中でこそ育まれます。家庭では見えにくく、保護者にとっては理解しにくい部分でもあり、園や学校の集団生活の中で、幼児期から意識的に育むことが効果的であり重要であるとされています。

カウンセリングルームでは、何らかの発達障害の特性を持ち、学校生活や日常生活において困難を呈する小中学生を対象に「いろいろ体験グループ」(S S T) を、現在、5グループ、各グループ月1回実施しています。ゲームや課題の体験をとおし、挨拶の仕方や友達とのスムーズな会話、自分の行動や感情をコントロールする力、状況に応じた行動パターンの習得などをねらいとして取り組んでいます。約束事やルールカード(話している人に顔を向けるなど)を練習し、良いところを褒めあうゲームや互いに質問をしビンゴをそろえるゲーム、また、設定した場面の様子や気持ちを考え、適切な言葉をかけるロールプレイなどを行います。子どもたちは、実に生き生きと活動し、褒められることでさらに望ましい行動が増えます。継続実施により、少しずつスキルの定着や般化が見られ、互いの楽しい温かい交流の場となっています。しかし、いろいろ体験グループでの体験は、学校や家庭・地域での適応をスムーズにするための橋渡しに過ぎません。S S Tは障害のある子どものためだけの特別な手段ではなく、どのお子さんにも必要なことですし、子ども同士、お互いの特性への特別な配慮ができるようになれば、協力し合う豊かな集団活動に繋がります。社会全体の理解が更に深まることを願います。いろいろ体験グループへの問い合わせは、カウンセリングルーム 電話32-3397までご連絡ください。

(文責 本間良子)

#### 教育相談班ワンポイント講座

#### 対話のある授業について

聞き手の身になって語るのが対話のある授業である。教師の発問の仕方、子どもの応答に対する言葉の返し方の中にカウンセリングの対話の精神が生きてくる。また子ども同士が授業の中でシェアリング(意見や感情の交換)をするのもカウンセリングを生かした授業である。

学校が教育する場であるからには、教師は子どもを「社会化する」ことを忘れてはならない。「社会化」とは世の中のルールを学習させるということであり、思考・行動・感情を教育することである。

そのためには、教師は日々の生活の中で、「当たり前なことを当たり前に行っていくこと」の大切さを忘れずに、聞いている子どもたちの気持ちになりきって意味ある授業をすること。つまり、対話のある授業こそ、子どもにとって魅力ある授業の条件となる。対話のある授業が子どもの「社会化」を促進することになるのである。

## ～ふれあいルームから～

### あきらめないこと

先日、ふれあいルームで毎年恒例の八石登山があった。通級生の保護者の方やOBなども一緒になったの登山。登った事がある人はわかるが、八石山は登山道が登り初めから階段つづきで、高さの割にとっても疲労する。私は先頭を歩いたが、登り始めて10分もすると、後ろから「疲れた～」「もうだめだ」「もう帰りたい」という声が聞こえ始める。「もうちょっといくと休憩だから」と、だましだまし励ますが、自分自身も足が辛かった。徐々に列は縦に長くなって、元気のある子は先へ登り、ゆっくりな子は自分ペースで少しずつ登った。去年は途中までしか上れなかった子は見事頂上へ到達し、弱音を吐きながら登っていた子は、以前より早いペースで元気に登りきった。天候にも恵まれて、頂上は気持ちよい風が吹いていて、見事登りきった全員の顔には充実感が漂っていた。

数日後、通級生に作文を書いてもらった。それらはいかに登山が辛かったかを強調し、またいかにすばらしい達成感を得たかを綴っていた。文体はどれも少し誇らしげだ。「あきらめたくなかった」という文があった。速くは登れないし、休み休みだったけど、最後まで登りたかったという。作文を読んでいて「あきらめたくなかった」という言葉が妙に心に残った。これは不登校児童生徒の学校復帰にも言えることなのではないかと思われた。

通級生は日々成長し、周りの状況も刻々と変わる。少し前なら絶対無理！と思われた事が、ひょっとしたらできるかもしれないと思われてくることがある。階段を一段登れば、見える景色も変わってくる。「あきらめたくない」という気持ちを大切にしていってあげたいと思った。

(ふれあいルーム指導員 寺澤 朋法)

## ※教育相談部6月の予定

### \*カウンセリングルーム

- ・いろいろ体験グループ (小学生 A) 8日 (金) 16:00～17:00 (教育センター)
- ・いろいろ体験グループ (小学生 C) 8日 (金) 16:30～17:30 (教育センター)
- ・いろいろ体験グループ (小学生 B) 15日 (金) 16:30～17:30 (教育センター)
- ・いろいろ体験グループ (中学生 1) 22日 (金) 18:30～20:00 (教育センター)
- ・いろいろ体験グループ (中学生 2) 29日 (金) 18:30～20:00 (教育センター)

### \* ふれあいルーム

- 12日 (火) 笹だんご作り 15日 (金) えんま市見学
- 19日 (火) ソフィアセンター行き



<h1>育成センター通信</h1>	0706号	柏崎市青少年育成センター
		〒945-0833 柏崎市若葉町2番31号 0257-20-7601 FAX0257-23-4610 ikusei@city.kashiwazaki.niigata.jp

## 6月の予定

日	曜	ことがら	日	曜	ことがら
1	金	市育成委員辞令交付・表彰	14	木	エンマ市育成(小中新校長)
		市育成委員会総会・歓送迎会	15	金	エンマ市育成(高校職員)
6	水	市健全育成市民会議総会	18~20	月~金	高校下校育成
		講演会「わたしが出会ってきた子ども達」講師 高森美紀子様			
11	月	昼間育成	28	木	昼間育成

## 5月の早朝育成

駅での声がけや挨拶にほとんどの生徒が返答または自ら進んで挨拶をするようになった。

駅から諏訪町通りまでの間は、道いっぱい広がって歩くので、注意できる体制をとりたいと思う。以前、高校付近の住民から登校時、送りの車のマナーが悪く危険であるとの指摘があったので、正門付近で交通指導を行った。

昨年に比べると生徒がおとなしい。乱れた服装や厚化粧の生徒が少なくなった。挨拶も元気がよかった。

連休明けのせいもあって、駅南の越後交通バス待合所は空びん、ペットボトル、トレイ、タバコの吸殻、ティッシュペーパーが多量に散乱していたので、育成委員全員で処理した。一般人、高校生の挨拶は良好、特に、高校生自ら挨拶するもののがかなりいた。小学生の挨拶は悪くて元気もない。一時停止個所で停止しない車が多い。靴のかかとをつぶして歩いている高校生数人に注意した。

連休明けの登校日、想像したより明るい表情での登校風景だった。挨拶も明るく元気がよかった。電車に乗り換える生徒も時間ぎりぎりではなかった。交番での情報収集では、最近、電車、バスの乗車マナーが良くなったようだ、駅周辺のゴミ、特にタバコの吸殻が少なくなったとのことである。駅前駐輪場での情報収集では、今のところマナーがよく、トイレ付近でたむろする高校生が少ないとのことである。

東柏崎駅での声がけや挨拶が終わった直後から、諏訪町通りまでの間の交通マナー指導をした。比較的素直に聞き入れてくれたが二日間の指導では不足かと思った。気長に繰り返し指導を続けたいと思った。高校正門前の送り車が数台つながる状態となり、後続の車に迷惑をかけている。また、道も狭いので事故が起こる危険性がある。車で生徒を送る親のマナーの悪さを痛感した。(車で生徒を送ること自体いかなるものでしょうか。)先生方も指導するよう希望します。

この件について、以前にも、高校正門前の危険性、マナーについて、地域住民から指摘がありましたので、今回、育成センターから高校長に、この状態を改善するよう指導を要請しました。

高校正門前下水溝のコンクリート部分の損傷が大きく、網状金属柵にガタつきが出ていた。補修の必要があると思った。この件について、育成センターから市維持管理課に連絡したところ、県道なので県に連絡するとの回答がありました。

何人かの女子高生が安田駅で下車し、私服から制服に着替えていたので、学校に連絡し指導するよう依頼した。

元気よい挨拶の交換で気持ちよかった。電車で遅れることなく登校した。

町の小学生の挨拶が悪い。酒店交差点に不法進入車が多いので、その都度停車させて指導した。酒店交差点で、特別許可証を見せない小学校教員が多く、提示を求めて確認した。また、挨拶も十分でないので小学校に改善を要請した。今朝は、かかとつぶしの高校生が、きちんと直して登校していた。高校生、一般人ともに挨拶よし。小学生登校班の旗持ちリーダーの立つ位置がばらばらである。一度指導したが(車に背を向けない)また乱れてきた。10日からの交通安全運動期間に指導することにした。

## 高校の下校育成

電車を待つホームでの態度も比較的良くなった。ジベタリアンの生徒もこちらの姿を見つくと立ち上がるようになった。服装については、腰までずり下げたズボンの男子や靴のかかとを踏みズボンの裾を引きずって歩く男子には、何度注意しても聞き入れられることはないようだ。女子高生の会話「今度また、漁民に飲みに行こう。」が気になった。飲むというからにはアルコールのことでしょうか。私服に着替えたら未成年とは判別できない。駅構内で高校生のアルバイト許可証を拾得し駅前交番に届け、学校に連絡してもらった。また、先般伺った地下道の交通ルールについての返答のお礼をした。

駅で地面に座っている女子高生に注意したら、「老人が座っていても注意するのか。」と聞かれたので「そういう場合は、待合室に案内する。」と応えた。このやりとりの女子高生の言葉遣いが悪すぎる。家でもそうなのか心配。ホームでジベタリアンをしている高校生に注意したら素直に立ったが、別の場所に行ってまた地面に座った。駅の内外にゴミが少ないが、タバコの吸殻が目立った。タクシーやバス停にも多くあった。

横断歩道で手を挙げて横断する生徒は全くいない。以前は挨拶しても無言・無表情の生徒が多かったが、この頃は、生徒自ら挨拶することが多くなった。活動の成果か。「何でこんなことをするの？」(下校時の育成活動)と聞かれた。しかし、言葉遣いが悪かった。靴のかかとをつぶして歩く生徒が多くなった。いろいろ聞いてみてもはっきりした

理由がつかめなかった。会話をしない時には携帯電話で指を動かしている生徒が多い。「さようなら。お帰りなさい。気をつけてね。」の声がけに半数以上の生徒が返事をした。一人の女生徒が足を止めて私を見つめていたので、私が「いつか会ったよね。覚えている？」と聞いたら、にっこり笑ってうなずいた。やはり2年半前に元気がなさそうにしていたので声をかけた子だった。「いってらっしゃい。気をつけて帰ってね。」「はい。」と元気よく返事をして女生徒は、ホームに入って行った。天気が急変して寒かったが、嬉しい再会だった。タバコ自販機前で男生徒が数人たむろしていたので、帰宅するよう声をかけたが、思うようにいかなかった。そこに駅前交番のおまわりさんが来て、高校生に「ここは駅前、みんなが通るところです。早く帰るように。」と言ったがほとんどの生徒が無視して動かなかった。おまわりさんは私に「声をかけ続けて行くより仕方ないね。」と言った。高校生が去った後にはタバコの吸殻が落ちていたので拾って処理した。その後、おまわりさんはタバコ自販機の脇にずっと立っていた。自宅に帰ったら知人が電話で「ごくろうさま。声をかけてあげられずごめんね。がんばってください。」と言った。今日は一人でジャンパーを着て立ったがその意味を大切にしなければ・・・。

4時の電車から降りた高校生数人が、ホームの待合室に入ったので声をかけた。女子高生4人は仕方なさそうに階段を上がって帰って行った。男子高生2人は自販機で飲み物を買っていたので早く帰るように話した。5時の電車に乗る高校生が、私たちの姿を見て「こんにちは。」と大きな声で挨拶した。女子高生が電車に間に合わず「ワーワー」わめいていた。もう少し早めに来るように話したが、自分たちも高校時代は電車の時刻に間に合わずに走っていたことを思い出した。時間があつたので、駅前公園に行った。駐車場係りが「夜遅くなるとにぎやかになるかもしれない。」と言っていた。

10名のジベタリアンがいたが、声がけして立ってもらった。(でも、こちらの姿が見えなくなると座ることもあるようだ。) 高校と 高校は、ズボンを下げてはいている生徒が多い。人に見られても平気でズボンを直していた。 高校の生徒と思われるが男子生徒が、学生服のボタン全て取ったものを着用していた。そのことには触れずに、ジベタリアンだけは止めてもらった。今後も注意する必要がある。ホームのエレベーターを利用する生徒が少なかった。乗車したのは男子1名だけだった。女子高生3名からは乗車を止めてもらった。駅南のバス停のゴミが多かった。拾っていたら中年女性がまるでこちらを清掃人のように見ていたようだった。 高校の生徒は挨拶が良くて気持ちがいい。活動中の清涼剤である。センターで表彰してもよいと思った。

柏崎駅脇の売店前で女子高生5人がジベタリアンをしていたので声をかけたら、返事をせず、にらみつけるようにして立ち去った。その後、同じ場所で違う女子高生グループのジベタリアンに声をかけたら、「はい、すみません。」と素直に従った。同じ女子高生でも、挨拶とマナーがこんなにも違いがあるものかと思った。駅のホームに5~6人の男子高生がいた。その内の一人が携帯電話で話しながら、ホームに座ってコンクリートから線路側に足を投げ出していた。「電車が入ってくるよ。危ないよ。」と声をかけたら素直に従った。非常に危険な行為である。以前、安田駅でも同様に行為をしている生徒がいて危険だと、駅員に言われて下校育成をしたことがある。事故が無ければよいかと思った。

## 育成委員 67 人に辞令交付

6月1日 市民プラザで 67 人に辞令交付、 育成委員を 2 年間委嘱する

育成委員会の新役員



辞 令 交 付



新会長 入西照宏さん



退任する育成委員

今井重雄さん 竹之内喜八郎さん

中村貞子さん 本間シゲ子さん

山崎高美さん

# センター点描



## 磯の香りを吸い込んで



## 磯の生物観察会



科学技術教育班では、5月12日(土)に「磯の生物観察会」を行いました。40人の親子が参加し、マイクロバスで鯨波に移動して潮位観測所付近の磯で観察採集を行いました。この日は波がやや高かったものの穏やかに晴れて観察日和でした。天候の関係で現地での観察ができたのは3年ぶりです。観察会の講師は、貝については柏崎貝類同好会長の小林進一さん、海そうについては海洋生物環境研究所総括研究員の馬場将輔さんの二人です。

現地の駐車場で2グループに分かれて説明を聞いた後、早速採集に取り掛かりました。滑りやすい足場に注意しながら緑そう類・褐そう類・紅そう類などの海そうを集めたり、巻貝・二枚貝を採取したりしました。岩に張り付いた笠貝の仲間は、一回触るとぴたっとくっついて取れなくなるので、貝の下に手を添えてドライバーなどでスツとはがすとよく取れることを教えてもらっていました。そのうち、岩場のカニに興味を持ち、男子児童はカニ捕りに夢中になっていました。岩の隙間にいるカニはドライバーを差し込むともぐったり逃げたりして捕まえるのはなかなか難しいようです。

駐車場に戻ってから、採集した海そうを画用紙の上に並べ、布を掛けて新聞紙に挟んで標本作りをしました。このまま押しをして乾かすと海そうの糊でくっついてきれいな標本ができるといえます。心地よい初夏の海風を感じながら楽しい観察会となりました。

## ~~ストップ・ザ・いじめ!~~

## いじめ根絶強調月間



昨年、いじめによる子どもの自殺が相次ぎ大きな社会問題になったことを受けて、いじめ根絶にいがた県民会議が設置されて様々な活動を行っています。6月と10月はいじめ根絶強調月間ですが、このほど「やめよういじめ、許さないいじめ」の懸垂幕を県内の小中学校に掲示しました。そこで、当センターでもこのスローガンを作成し、正面玄関上の大研修室のガラス窓に貼り付けました。



また、いじめ根絶に対する県民の意識高揚を図るため、6月16日新潟市の県民会館においていじめ根絶県民集会が開催されます。これは、PTAや学校関係者など1,500人が参集していじめ根絶について取り組まなければならないことを考えるものです。国立教育政策研究所の滝 充さんの講演と県内有識者等10人によるリレートークが行われます。このリレートークに、当センター小林 東教育相談係長が臨床心理士の代表として話します。ご希望の方はぜひ参加してください。なお、本誌6月号には「いじめから子どもの心と命を守ろう」という呼びかけ文を特集したのでご覧ください。



所員随想

# つれづれ

## 人生を極める



教育相談班カウンセラー助手 本間 良子

皆さんは、人生を愉しむ特技や趣味あるいは才能というようなものをお持ちだろうか。というのも、この原稿を書くに当たり、私自身、皆さんに紹介できることなど何も無いと困窮しているのである。努力も継続も忍耐も無。拳句の果てに、先日、意を決して受診した人間ドックで、この方何者？と思わせる風貌の指導員の方から、「この夕食のおかずはどこへ行くか？」と問われ、私はまるで叱られている子どものように、正直に「腹周りです。」と答えたのにも拘らず、その只者で無い方は、「腹周りどころではありません。血管ですよ！」と一喝したのである。これが、実話であるから情けない。こんな私に誰がした！と、私を最愛の妻と呼ぶであろう夫に嘆く日々である。

さて、私のことはさて置き、教育センターの方々は、実に、人生を愉しむ才能・お人柄、をお持ちで、多くのことを学ばせて頂いている。勝手にご紹介したい。(全くの主観です。)

\* 愚痴や批判はこぼさず、どんな仕事も率先して行う(暑い中、庭の手入れを全てして下さい)この方、温かい言葉を常にかけて下さる。人望とは、自らの一つひとつの行いから創られるものなのだと痛感。カメラを手にすると実に生き生き瞳が輝く。

\* 登山が趣味の一つのこの方、常日頃から錘を付けての歩行など弛まない努力と即実行、そして更に次の目標、愉しみへ続き、夢はポックリなどとおっしゃる。何れ、この方こそがエベレスト登頂最高齢の記録を塗り替えると密かに確信している。

\* 情報システムのいかなる難題・SOSにも瞬時に応え、自分でやっしまえばたかが1分のところ、私の化石化しつつある脳細胞を育てようと試みてくださる奇特定の持ち主だが、超ホットファミリーでもあり、うらやましい限りである。できれば、ワトソン博士以上に、DNAのゲノムを公開していただきたい。

\* ゲノムの公開までは希望しないのだが、あらゆる知識・情報を蓄え、どんな分野にも対応できるこの方。これも特技の一つに違いない。それを知っているからといって、特段どうということも無いのだが、実に愉快で人を和ませてくれる。当然のことながら、退職後の壮大な夢もお持ちである。一緒にどう？と言われても遠慮してしまう夢なのだが。

\* 夫婦円満、常に穏やかな温かい方。(できればこの方の家の猫になりたい！) \* 希少な植物との出会いにときめき、世界の果てまでも飛んで行ってしまおう方。(ゲームで着用したメイドさんのコスチュームを家に持ち帰れないと残念がってしまうから最高である。)など、など、とにかく、教育センター内の方たちは凄い。皆さんを紹介できないのが残念。

関心を持った方、ちょっと元気がなくなっている方、ぜひ、教育センターへ「来て・見て・触れてみて！」明日からのあなたに、ポジティブな行動変容が起こること間違いなし。

それにしても、あの、エチゼンクラゲでさえ、役立ち成分が発見され医薬品になるというではないか。私を最愛の妻と呼んでくれるであろう夫なら、きっと、答えてくれるに違いない。「私のいいとこ、言ってみて！」…なんと、夫は45度に首を傾げ、考え込んだのである。これも、また、実話であるから情けない。



# PC 一人一台環境はどうか？

教育研究班情報教育主事 田村 実



今年度の教育委員会事業のひとつとして「柏崎市における教育の情報化推進プラン」の策定委員会がスタートした。「児童生徒の情報活用能力を育成する」「校務の適正な執行と効率化を図る」という大きな目標を推進するために、「どうすれば限られた予算の中でよりよい環境を作ることができるか」ということを長期的な視点に立って検討するものである。まだ始まったばかりなので、どのような事柄が課題として挙がってくるかは未知数であるが、「教職員の PC 一人一台環境の整備」については間違いなく議論の対象となってくると思われる。一人一台環境が既に整備されているのは、県内では上越市などまだごく一部であるが、検討を進めている自治体は少なくないようである。全国的に見ても整備済みは少数派、検討中が多数派といったところか。



さて、PC 一人一台環境の整備について、どのような事を考えておかなければいけないだろうか。私なりに考えていることを列挙してみる。

まず、整備することのメリットは何か・・・

- ・自己負担がなくなる(ただし、日中自由になる時間がきわめて少なく、職場だけで仕事が完結しないという現状では、結局自宅にも PC が必要になると思うが)。
- ・グループウェアなどを併せて導入することで、劇的な校務の効率化の可能性が生まれる。
- ・セキュリティ、保守、研修など、様々な面におけるサポートがしやすくなる。
- ・整備は「日常的な活用」が前提になるので、否応なく、現在不得手な人のスキルの向上が見込まれる。

などが主なものであろう。そして、整備が実現するとして、考えられる問題点は何か・・・

- ・公用機器となる以上、自宅に持ち帰ることは許されないのが普通である(結局自宅用 PC は必要となる)。データだけ USB メモリ等で持ち帰ることは制限付きで許可されるかもしれない。
- ・共通のソフトウェア以外のインストールはできなくなるかもしれない。仮にできるとしても、一定のルールの下、許可を得てということになるであろう。個人所有 PC に比べれば自由度は低くなることは否めない。

さらに・・・

- ・性能的に低いものが割り当てられることがあるだろう。一般的な償却期間である5年間を更新サイクルと考えた上で、他の市町村も含めて一斉に整備されることなどあり得ないから、「前任校では最新の PC だったのに、新任校では5年前の PC」などというケースも予想できる。実際に公用 PC でも電源 ON から使えるようになるまで5分以上かかるようなものがたくさん存在するのである。

重要なことは、各学校において ICT 活用の牽引役となっているような人たちのモチベーションを下げないような整備を考えなければいけないということではないだろうか。



膨大な費用を要する整備には当然「費用に見合った効果」が期待されるし、個人の持ち物でなくなる以上、厳しい制約も課せられる。整備されているのに「気に入らないから自分のものを使う」などとはいかない。仮に予算が確保できたとしても、ただ物が揃えば良いというわけではないのである。「十分に活用されるための意図的な仕組み」や「現実的な制約と必要不可欠な自由度」などを考慮に入れた上で、「ずーっと使える」環境を実現しなければならないのである。しっかりと議論しなければならない。

平成19年度

## 6月の予定表

柏崎市立教育センター

日曜	研 修 ・ センター行事 ・ 会 議	学 校 訪 問	出 張 ・ その他関係事業
1 金	相・いろいろ体験グループ(中学②グループ) 18:30~	新道小学校訪問(赤) 15:30~	育成委員辞令交付式・総会 18:00~ *市教頭会(多目的研) 15:00~
2 土			夢の森公園ガイド(植木)
3 日			夢の森公園ガイド(植木)
4 月	所内会議 13:00~		柏崎養護学校評議会(小林) 10:30~ 第五中学校ピアサポート結成式(小林) 15:30~
5 火		第二中学校訪問(赤) 10:00~ 第一中学校訪問(滝) 10:00~	虐待防止連絡会(小林:元気館) 13:30~ *柏崎市刈羽郡学校研学校保健研究部(第一研) 15:30~
6 水	ふ・保護者面談~8日(金)		ガリレイ6月号発行 青少年健全育成市民会議総会 18:30~
7 木	研・生徒指導研修I「施設設備の管理及び児童生徒の学校事故防止」 15:00~17:00 情・基礎から学ぶICT活用①(オリエンテーション) 15:00~17:00	第一中学校授業参観(中野) AM 鏡が沖中学校訪問(赤) 10:00~ 第三中学校訪問(滝) 10:00~	就学指導委員会(小林) 14:00~
8 金	研・特別支援教育研修「学校における特別支援教育体制の充実」 15:00~17:00 情・疑問やトラブルに答える フリーQ&A③ 16:00~18:30 相・いろいろ体験グループ(小学A・Cグループ) 16:00~		教科書展示会(~7/6まで)
9 土	<b>青少年のための科学の祭典2007柏崎刈羽大会</b> (会場:新潟工科大学) 10:00~15:30		
10 日			夢の森公園ガイド(植木)
11 月	相・上教大院生実習生受け入れ(~29日まで)		出・上越地区野外研修会(植木:糸魚川)
12 火	研・養護教諭研修「救急法」 15:00~17:00 科・ワンポイント研修「地層」 14:00~17:00 情・ラ・プロジェクトの活用 15:00~17:00 ふ・笹だんご作り	東中学校訪問(赤) 10:00~ 瑞穂中学校訪問(滝) 10:00~	
13 水	ふ・笹だんご作り		就学相談会(小林) PM いなほの会相談会(小林) 19:00~
14 木		高浜小学校訪問(赤) 15:30~ 南鯖石小学校訪問(滝) 15:30~	
15 金	ふ・えんま市見学 相・いろいろ体験グループ(小学Bグループ) 16:30~	二田小学校学校訪問(中野) PM 野田小学校訪問(赤) 15:30~	
16 土			出・いじめ防止県民会議(小林:新潟) 出・上越地区合同野外研修会(植木:妙高)
17 日			
18 月			
19 火	ふ・ソフィアセンターへ	比角小学校学校訪問(中野) PM 鯖石小学校訪問(滝) 15:30~	
20 水	研・図工美術研修「児童画の指導法」 15:00~17:00 科・ワンポイント研修「実験の基礎技能」 15:00~17:00		*心の教室相談員研修会(学校教育課:第一研) 15:00~
21 木		松浜中学校訪問(赤) 10:00~ 北条中学校訪問(滝) 10:00~	同和教育基本研修(刈羽村ラビカ:中野)
22 金	研・進路指導研修「はじめよう!キャリア教育」 15:00~17:00 情・学校ホームページの管理(構成内容、まとめ方、更新手順) 15:00~17:00 相・いろいろ体験グループ(中学①グループ) 18:30~		*退職校長会(第一研) 13:30~15:30
23 土	自然に親しむ日「初夏の植物」(会場:谷根ダム方面) 8:30~12:00		
24 日			
25 月			
26 火	科・ワンポイント研修「科学研究」 16:00~17:00	高柳中学校訪問(赤) 10:00~ 西山中学校訪問(滝) 10:00~	人事課研修(小林)
27 水			教科書センター運営委員会 人事課研修(小林)
28 木	研・国語研修 小学校示範授業(会場:剣野小学校) 14:00~17:00	二田小学校訪問(赤) 15:30~ 北条南小学校訪問(滝) 15:30~	
29 金	情・小学校低学年におけるICT活用の指導法 15:00~17:00 相・いろいろ体験グループ(中学②グループ) 18:30~		
30 土			
<b>☆今月の催し☆</b> 6/9 青少年のための科学の祭典2007 6/23 自然に親しむ日(初夏の植物)		研=教育研究班 科=科学技術教育班 ラ=視聴覚TVラ- 相=教育相談班 い = いれあいルーム 訪 = 学校訪問 出 = 出張 (滝) = 滝澤学校訪問相談員 (赤) = 赤川学校訪問相談員 * = センター施設貸し出し	

## 7 月

1 日			<b>☆7月の催し☆</b>  7/7 自然に親しむ日(こん虫) 7/22 標本作成相談会  <b>参加をお待ちしております!!</b>
2 月	相・上教大院生実習生受け入れ(~20日まで)		
3 火		北条北小学校訪問(滝) 15:30~	
4 水			
5 木		石地小学校訪問(赤) 15:30~ 高柳小学校訪問(滝) 15:30~	



さあ、科学のとびらを開けよう

期日 6月9日(土)

10:00 ~ 15:30

会場 新潟工科大学

新潟工科大祭と同時開催



お問い合わせ先  
柏崎市立教育センター  
科学技術教育班  
TEL 0257-20-0212

お近くのイベント紹介  
6月9日(土)・10日(日)は「探検! エネルギーワールド」  
すぐ近くの新潟産業大学で開催しています。

主催 柏崎市教育委員会・柏崎市立教育センター、新潟工科大学、  
「青少年のための科学の祭典」柏崎刈羽大会実行委員会、(財)日本科学技術振興財団・科学技術館  
後援 刈羽村教育委員会、柏崎市刈羽郡学校教育研究会、文部科学省、全国科学館連携協議会、全国科学博物館協議会ほか  
協賛 電気事業連合会

小・中・高では



どんな教科書使ってる？

# 教科書展示会

とき 平成 19 年 6 月 8 日 ~ 7 月 6 日

ところ 柏崎市立教育センター(若葉町)

## 夢の森公園がオープン

6月2日に夢の森公園がオープンしました。一般には花の少ない時期であるにも関わらず、白い花に包まれた公園でした。自然観察ガイドの道すがら撮影した花の一部を紹介します。



# 教育センター事業の参加・利用状況(5月)

	研修講座・事業名	5月の 利用数	5月末までの 利用合計数	18年度の 利用合計数
教育 研究 班	専門研修講座 *	4回 33人	4回 33人	56回 1,810人
	学校の要請研修会	0回 0人	0回 0人	5回 25人
	調査研究員会, 教科研修員会	1回 13人	1回 13人	10回 40人
	教育情報化研修講座 *	7回 66人	8回 69人	41回 529人
	情報教育主事の要請支援等	8回 78人	21回 182人	98回 865人
	その他の相談・利用・参加数	4回 7人	6回 10人	38回 67人
	教科書センター利用閲覧数	5人	7人	413人
	科学 技術 教育 班	理科研修講座 *	3回 11人	5回 73人
学校等の要請研修		1回 7人	1回 7人	15回 365人
地域の自然研修・観察会		2回 118人	4回 163人	9回 586人
科学教育振興事業(科学の祭典・科学教室等)		0人	0人	10,140人
理科教育の相談・支援		29件	45件	289件
理科教材・物品の貸出 (教職員研修の合計)		11件 25人	16件 99人	147件 799人
教育 相談 班		カウンセリングルーム来室相談	新規 22件 継続 50件	62件 102件
	学校訪問相談	16回	26回	140回
	家庭訪問相談	4回 1人	4回 1人	118回 38人
	電話相談	1件	1件	40件
	ソーシャルスキルトレーニング	4回 20人	4回 20人	32回 187人
	ふれあいルーム通級人数	小学生 1人 中学生 10人	2人 21人	12人 199人
	ふれあいルーム通級日数	21日	36日	193日
	同上 学校復帰数(部分復帰を含む)	1人	6人	17人
	視 聴 覚 ラ イ ブ ラ リ ー	16ミリフィルム of 貸し出し	7本	23本
ビデオテープ of 貸し出し		24本	49本	506本
視聴覚機材 of 貸し出し		63台	92台	619台
編集, 借用, 相談等の来室者		68人	132人	1,160人
機器操作研修会		1人	3人	38人
親子映写会・児童クラブ映写会		0人	0人	0人
教育団体, P T A, 市民等の利用		330人	537人	3,304人
教育センターにおける教職員研修講座 (* 印の合計)		14回 110人	17回 175人	109回 2,512人
<b>教育センター事業の参加・利用総数</b>		<b>996</b>	<b>1,698</b>	<b>22,809</b>

ガリレオ・ガリレイはイタリアの天文学者で近代科学の父と言われ、分析と統合との経験的・実証的方法を用いる近代科学の端緒を開いた人です。

これまで、新しい教育を創り出す私たちにも、ガリレオ・ガリレイのごときたゆまざる検証と気概が必要であるという趣旨から、「がりれお」を発行してきました。この精神を引き継ぎ、平成17年度から「GALILEI」という名称で、教育・育成センターの情報を広く皆様に発信しています。



945-0833 新潟県柏崎市若葉町2-31

**柏崎市立教育センター**

TEL 0257-23-4591  
FAX 0257-23-4610

**柏崎市青少年育成センター**

TEL 0257-20-7601  
FAX 0257-23-4610